



ふたかみ NEWS プチトマト

社会福祉法人 ふたかみ福祉会

583-0856

大阪府羽曳野市白鳥3丁目16-3-102

発行責任者：寺村美知子

編集責任者：関口奈緒美

TEL 072-959-3221

FAX 072-957-1604

Email futakami@hi-ho.ne.jp

<http://www.futakamifukushi.sakura.ne.jp/>

開店前からたくさんの方々に並んで
いただきました。
たくさんの方々にご協力いただき、
大盛況となりました。
ありがとうございました。



2018年11月10日

秋のBIGバザーを開催しました



意思決定支援とは

羽曳野市作業所・施設連絡協議会主催の「意思決定支援とは」というテーマの学習会に参加しました。

今の福祉施策の動向でも、意思決定の尊重は重要とされています。

なかまのことを思い込みで決める事無く、サポートの方法1つで「できること」に変えていくことが出来るということとを具体的な例題も取り入れながら説明して下さいました。

本人の生活状況や価値観・想いを理解する、さまざまな関係者で構成されるソーシャルネットワークで、その決定を支えていることや他者との相互作用をするそのプロセスがあつてこそその自己決定であるという話がとても印象に残っています。

「意思決定支援」と文章だけ読むととても難しい内容でも、具体的な例を見たり聞いたりすることでイメージしやすくな

り、自己決定に関して少し理解することが出来ました。

なかままでの分りにくいことへのサポートの方法や今後の支援につなげていけたらと思います。

(上月)

神戸女学院大学教授
NPO 法人おおさか行動する
障害者応援センター
副代表 與那嶺司氏



安居楽業セミナー

10月26日にきょうされん主催の安居楽業のセミナーに参加しました。全国のきょうされんに所属する作業所の職員が集まり「障がいのある人の『はたらく』をめぐる現状と課題」「働くことを通して誰とつながっていますか?」「障がい者の働くことを考える」について

て3つの講義を受講しました。

講義を聴講し、障がい者にとつて働くとは何か?ただ内職作業をこなしているだけでは「仕事」と認識してしづら

いがやっている仕事は「車の部品の仕事」だと伝える事で自分たちは誰かの役に立つ仕事を行っているんだと自信を持つことが大切だと思いました。

特に印象に残った講義として、和歌山県きのかわ福祉会の小畑氏の自立訓練シャインの実践について聴講した事です。

支援学校高等部を卒業した人たちが2年間自分づくりの実践をおこないます。

社会に出れば「働くこと」を求められますが、ここでは「自分らしさ」をつくることを主に、ありのままの自分でいい、ゆつくりと時間をかけて大人になつて行こうという実践を行っています。

利用者同士で1人についてどのような人かの詩を作りそこで他者から通した自分を見つ

める、2年目の卒業する時には自分が気になった事を発表するテーマ研究を行い、人に物事を伝える事、発表という大きな行事を乗り越える事で成長していきます。

社会に出ると3年間で4割の人が人間関係で離職してしまふというデータもありますが、シャインでは「困難にあつてもたやすく、くじけない心とからだ」を作り社会でも生きていけるような実践を大切にしていることを学びました。

2018年度の報酬改正では5割を超える作業所が減収という報告が出ています。また、官公庁の障がい者の雇用水増し問題といった様々な問題が表面化し障がい者にとつては働きづらくなっている現状があります。

障がい者にとって少しでも生活しやすい世の中にしていかなければならないと思います。

(松本あ)

★ハピバール

楽しい！おいしい！のんびり！一泊旅行！★

11月9日(金)・10日(土)の二日間、愛知県に行ってきました。

出発時はあいにくの雨模様でしたが、仲間たちの心は晴天で出発しました。

お昼を食べて、まずは聖ヨハネ教会堂へ。

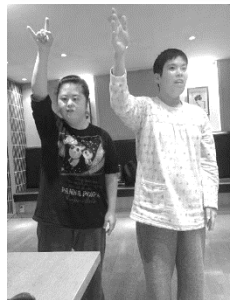
女性たちの願いごとは1つ。「結婚できますように。」と真剣に祈りしていました。

明治村へ。さあ散策！という時になると雨は上がり、紅葉のきれいな村内をのんびりと見て回りました。

お宿は、愛知最古の笹戸温泉「旬樹庵紫翠閣とうふや」です。さつそく温泉へ！広々とした湯船につかりました。

2回入る仲間もいましたよ。

そしてお待ちかねの夕食。お肉あり、お刺身あり、釜飯あり、松茸の土瓶蒸しあり……。アルコールも少々たしなみ、思う存分舌鼓を打ちました。



宴会はおとなしめに、年長者の仲間のあいさつから始まり、カラオケと、得意のエビカニクスのダンスでお開きでした。
2日目はきれいな青空のお天気になり、リトルワールドに向かいました。
世界各国の家屋が建っていて、まず沖縄から回ります。北アメリカでは弓矢を体験したり、ペルーでは民族衣装を着ました。

イタリアのパスタとピザを食べ、行ったことも見たこともないいろいろな国を体験しました。
最後にお土産を買い、名残惜しかったですが帰路へとつきました。
明治村、リトルワールドとも広くて全部回りきれなかったの、また来年リベンジかな、なんて言いながら帰ってきました。

(楠尾)

★羽曳野市

健康まつり★

10月21日羽曳野市健康祭りに羽曳野市委託の相談支援事業所4ヶ所(ばんびーのフレンドハウス 支援センターホープ 支援センターはる)で「障害のあるひとたちの暮らし・情報・体験交流コーナー」を設け参加しました。毎年恒例となった点字体験 手話体験 精神障害者当事者とのクリスマスツリー作り 子ども遊びコーナーですが、コーナー来場者数331人に立ち寄って頂き大盛況でした。手話・点字は毎年子どもさんが中心でしたが、今年は大人の方の参加者も多く、点字や手話教室に参加したいと問い合わせをする方もおられました。
今後も、市民の方と障害のある方が気軽にふれあう事の出る機会を作り、障害のある方との交流や理解等が広がって行けばと思います。

(渡辺)

★はびきの園ではこんな仕事をしています★

「製菓班」

製菓班はクッキーやバームクーヘンやジャムを作っている班です。たくさんの注文が来るときにはいつも以上に皆で協力して仕事に励んでいます。製菓班は、他の班と比べて早い時間から仕事が始まります。

「沢山仕事出来る」と喜ぶ仲間もいます。

作業室に入る時には大きな声で挨拶をし、元気よく仕事を開始します。



「返事・挨拶は仕事の基本！」働く姿勢もバツ干リ！仕事だってきっちり取り組みます！真っ直ぐ並べる、大きさを均一にする、ほど丁寧に仕事をし、手づくりの良さを大事にした商品づくりを心掛けています。お客様に「美味しいと言ってもらいたい！」その気持ちは本気です。

たくさん仕事をしてたくさん給料が欲しいとの願いから、「話し合って仕事をします」・「教え合って仕事をします」・「助け合

って仕事をします」「みんなで頑張って成長します」と仕事を頑張る目標を皆で話し合って決めて頑張っています。

★製菓班のチームワークは100人力！！

★一人では出来ない仕事もみんなで協力したらパーフェクト！！

はびきの園のお菓子を知っている人も知らない人も是非買って食べてみて下さい。

私たちが心をこめて作った美味しいお菓子で感動をお届けします。



私たちの商品はCafe ハビパールにも売っています！
美味しいコーヒーとセットで是非ご賞味下さい！！

12月 販売&イベント

はびきの園

18日(火) 葛井寺販売 10:00~12:00

23日(日) CRAFT PARTY 2018

場所：河内長野市ツクリホール B1 キッチン

10:00~15:00

25日(火) 道明寺天満宮 10:00~12:00

28日(金) 滝谷不動販売 9:00~14:00

ハビパール

2日(日) ふれあいひろば(道明寺商店街)

10:00~15:00

23日(日) CRAFT PARTY 2018

場所：河内長野市ツクリホール B1 キッチン

10:00~15:00

2019年1月6日(日) もちつき

ぜんざいふるまいます！！

ハビパール特製！カレーうどんも販売します



編集部の独り言
巷にクリスマスソングが流れる季節になりました。お正月も、すぐそこまで来ています。この時期に毎年思う事は、今年はいったい何をしたのだろうか？です。反省ばかりです。それでも、まずは災害の多かった今年、平穏無事に過ごせた事を感謝したいと思えます。(みやぎき)

ありがとうございます。

【寄付・寄贈】
三木武夫様
【ボランティア】
であい様
畑英作様
細川直幸様
松倉和代様
【アルミ缶回収】
1040kg

【18年度11月】
後援会入会及び更新の方々
(敬称略)
森邦子 以上3口
小田百合子 大西理恵子
西原俊子 井川たつ子
以上1口